



「樹の根」

平成12年 商学部卒
海事代理士 深澤洋二郎

和辻哲郎博士の「樹の根」を拝読し、感銘を受けました。和辻博士は、自宅の松を改めて見て、地上の幹や枝、針葉の美しさは、複雑に絡んだ地下の根の苦しみや努力によるものだということに畏敬の念に打たれています。確かに、根が貧弱であれば幹や枝は大きく立派に育つことはなく、大地をしっかりと掴むように「根」が張っていなければ、やがて枯れてしまいます。「根」は大きく育つための礎だということです。

人間も、表面上の見栄えより、苦勞して大地にしっかりと根を生やし、努力した人が本物で、人からも尊敬されるということだと思えます。2021年11月4日に日本ハムの新庄剛志新監督の記者会見がありました。記者から、スローガンを聞かれ、「夢はでっかく、根は太く。土台をしっかりと作って、夢に向かって突き進んでいきたいというイメージ。」と答えています。「樹の根」に通じるものを感じたところです。

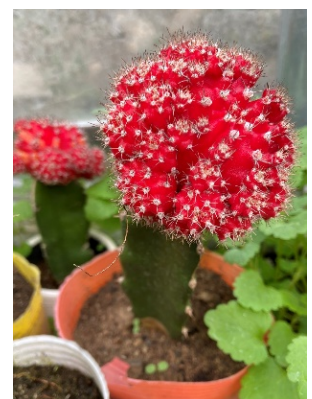


サボテンの「接ぎ木」と「土台の根」も共通し、心を打たれます。中学時代にサボテンの栽培をしたことがありましたが、3年ほど前からまた少し栽培を始めました。

「緋牡丹」というサボテンには全体に斑（ふ）があり、葉緑素がないため台木がないと成長しないどころか、枯れてしまいます。通常、台木には「竜神木」と「三角柱」というサボテンが使われます。「竜神木」は永久台として使用されますが、成長が遅いという欠点があります。成長は遅いけれど、「竜神木」は台木がしっかりしているので「緋牡丹」をずっと守っていくことができます。
← 左の黄色い「緋牡丹」は台木が「竜神木」、成長が遅い

一方、「三角柱」は成長は早い半面、永久台にはならず、やがて台木が枯れてしまうので、「緋牡丹」も枯れてしまいます。

右の赤い「緋牡丹」は台木が「三角柱」で成長が速い →
(上の黄色と右の赤は同時期に接ぎ木し、成長差がある。)



サボテンの台木は、樹の根と同様に鑑賞対象とはなりませんが、「緋牡丹」の成長と生命維持に欠くことは出来ません。「根」ではないけれども、「樹の根」と同じものを感じた次第です。

樹木やサボテンのような植物でも、成長は遅く成果は出なくとも、耐えて努力してしっかりと根を張ったものが美しく成長するように、人も努力を惜しまない生き方こそが後に立派に成功を収め、尊敬されるのではないかと思います。

2021/11/6(日) 記



3年ぶり タイ山岳民族の子供たちと交流

NPO法人 SHIDA 代表理事
昭和46年 法学部法律学科 卒
杉山 秀夫

2022年9月9日、タイ、メーホンソン県
メーサリアンのゲストハウスに満面の笑みを
浮かべ、奨学金の子供ティティマーが現れた。
3年ぶりの彼女は輝いて見えた。

ティティマーは、現在高校3年生、将来は警
察官になる夢がある。彼女は、ミャンマー国境
近くの町、メーサリアンから車で2～3時間の
山中の集落出身である。ここには学校がなく、
近くの比較的大きな集落の幼稚園と小学校併
設の学校に通学した。幼稚園時代は、親がバイ
クで送り迎えをするが、小学校になると40～
50分の山道を歩いて通学する。雨が降れば危
険なので園児も小学生も学校へ泊ることにな
る。

中学、高校になると、近隣に学校が無いため、
町の寮のある学校へ行くことになる。こうな
ると集落までバスがあるわけではないので、親が
迎えに来るまで寮生活となり、長期の休みにな
らないと両親に会うことが出来なくなる。
ティティマーは、授業料や教材費、生活費、そ
れに大学進学のため、毎朝登校前に農作業など
アルバイトをしている。学校のこと、両親のこ
と、将来の夢など、目を輝かせ話す彼女は、大
きく成長していた。こんな嬉しい報告が、私た
ちの活動の最大の原動力である。



【ティティマー (左)】

今回の訪問は、ティティマーのように支援し
ている、中学生から大学生と、看護師等研修中
の学生22人に奨学金の支援を行い、先生等と
なり活躍中の子供8人を激励することである。
現地で我々の活動を応援してくれる先生たち

9人とも会えることができ充実した旅とな
った。

【カムワイ (左) 妹たち (右)】



今回の訪問は、どうしても会わなければなら
ないカムワイという子供がいた。

両親が離婚。3姉妹が親元を離れ、プレーとい
う地方の町で生活するようになったと聞いた。
カムワイは、大学4年。公務員志望で法律を学
んでいる。プレーは、今まで住んでいたチェン
マイからバスで約4時間。生活費が安いし、比
較的大きな街でもあり、働く場所もあることか
ら選んだと言う。3姉妹の生活は、きびしいも
のだった。カムワイは、長女で、妹たち2人の
父親と母親の役割を果たさなければならない。

昼は王立森林局の管理員、夜はタイスキの店
で6時間働き、土日は家庭教師、更に大学の勉
強もしなければならない。妹たちは、専門学校
生と中学生であり、2人とも授業が終わると、
ケーキ店で6時間のアルバイトをする。3人が、
カムワイを中心に協力し合い、頑張っている姿
には感動した。カムワイが、妹たちのことを話
す表情は、母親のようであり、以前より引き締
まって見えた。健康のことを心配すると、若い
から大丈夫と笑っていた。私は、3人に「身体
は、食事して成長する。心は苦勞を食べて成長
する。この試練を乗り越えれば、強く、賢く、
善い人になる。」と激励すると、3人は真剣に聞
いていた。この3人なら、困難を乗り越えると
確信のようなものが湧いて来た。次回会った時
は、きっと更に逞しく成長していることだろう。

3年ぶりのタイは、ハプニングと感動の旅で
もあった。活動の初日、いつも学生の家や学校
訪問に案内していただく先生が、当日コロナ感
染が判明したためチェンマイでの学生への対
応からメーサリアンまで、先生の応援がなくな
ってしまった。

町の中心にあったバスターミナルが5～6

k m離れた郊外に移転し、移動手段もなく、やむなくバイクの後ろに重いスーツケース乗せて、自分も乗って、運転手にしがみつき、ゲストハウスへたどり着いた。

先生が「スギヤマは、タイの子供のために一人で重い荷物を持って来てくれた。だから、次の目的地のメーホンソンまで車で送る」と言う。舗装されているとはいえ山道約150 kmを女性の先生2人の運転で行っていいものか躊躇し、バスで行くからといいと遠慮したが、どうしても送ると言われ送っていただいた。そんなハプニングの中で楽しい体験となったことなどが連続した。



【150 km送ってくれた先生】

私にはタイの国境警備隊の友人がいる。私たちの活動に共感し、国境近くの学校を訪問する際、麻薬とかミャンマーとの状況など、危険を伴うことが考えられるときなど、さりげなく同行してくれます。今回一緒に食事をしたのですが、その時、プラスチック製の箱に仏陀像のようなものが入ったものを差し出されました。以前も安全のためにと、お守りのようなものを頂いたことがあるので、同様のものと思って受け取りました。しかし、これは彼が、国王から頂いたものだということでした。「これは、あなたにとって大切なものだから」と遠慮したのですが、「私のスギヤマに対する気持ちだ!」と言う。同席した警察幹部で彼の友人や、SHIDAの支援で国家公務員となった子供からも勧められ、いただくことにしました。

そして、「スギヤマは、私が送る」という警察幹部の後をついていったら、そこにあったのはパトカーだった。このパトカーでホテルまで送っていただ苦ことになった。本当に良い仲間恵まれ、最高の幸せを味わいました

国家公務員となった子供から、自分の写真と感謝の言葉の入った額をいただきました。中学

1年から支援した子供で、小さなみすぼらしい家に家族4人で生活していました。今でも最初に会った時の不安そうな表情など鮮明に覚えています。訪タイの際は、必ず会い激励し続けました。その子供が立派に国家公務員となり、活躍している姿を見るほど嬉しいことはありません。仕事のことなど、誇らしげに話すのを見て、この活動をして本当に良かったと喜びがこみあげてきました。



【国家公務員となった
ケッサリン】

こんな私たちの活動は、実は日大静岡県支部に関係があります。ずっと昔の日大静岡県支部総会で、私の隣の男性とタイの活動が話題になりました。将来は奨学金制度を作りたいと話すと「是非おやりなさい。私も応援しよう。」と言い、資料も送っていただき、自らも会員となり、友人にも勧めて頂き、更に主宰する静岡イースト21の会という団体も会員となって応援して頂きました。そして、奨学金制度は、私たちの団体の中心の活動となり、教師や看護師などを生み出す力となりました。この男性が現支部長の後藤正治先生です。

静岡県支部の和気あいあいの雰囲気、人間関係を作り、そこから更に新たなものを作り出す力になっている。そんな恩恵を受けて現在の私たちの活動があります。そんな多くの人たちのご好意に、結果でお応えできるよう今後も活動を続けていきたいと思ひます。



【国境警備隊の友人 (右)】

2022.10.16 (日) 記

支部長挨拶と編集後記

静岡県校友会支部長 後藤正治

新型コロナウイルスの猛威は、日本のみならず世界各国に深刻な影響を与えています。2019年11月以来、丸3年になろうとしています。ワクチン接種が進み、明るい方向に向かっているはずですが、未だ解放感はありません。今年は、加えてロシアのウクライナに対する不当な侵攻があり、2月24日に開始されて、早くも8ヶ月になります。事態の解決は、より深刻なものであり、解決の道は至難です。

新型コロナウイルスの影響で、2020年から、6月、8月の静岡支部幹事会、10月の支部総会が何れも流会となっています。来年は、開催したいと考えます。このような中、会報第26号をお届けします。厳しい状況下こそ、会報をしっかり作成して、皆様にお送りしようと考えて、皆様の参加をお願いしました。いままで原稿を書いて下さる機会がなかったと考えて、会費を支払って下さる会員へ原稿をお願いしましたところ、新しく6名の方が、原稿を書いてくださいました。さすがに、レポート提出で苦勞し、文章書きを仕込まれた方々です。お送り頂いた

原稿内容は、みな様の活力を感じるものばかりです。ありがとうございました。原稿は、通信教育部への思い、人生、社会貢献、社会に対する評論、趣味の俳句、海外旅行記などなどです。ご覧ください。

昨年、思い切ってカラー印刷にしました。当然、印刷費用は、増大しますが、幹事も新しく挑戦をしなければ、校友会が活性化しない。頑張ってみようと、幹事長・事務局長の田中由雄さんのゴーサインの下、実現し、立派なものに仕上がりました。田中さんの役割は、役員会、総会が中止となっても、役員会、総会の書面決議の発送と回収、会報の印刷、発送など事務量は多大です。今後もよろしく願いいたします。また、この会報は、のぞみ事務所の事務員がサクサクとレイアウトをしてくれました。原稿の校正、写真の配置などは、大変な作業です。これがなければ実現し得ません。感謝、感謝です。

これからもみな様の参加とご意見をお願いいたします。

みな様とご家族様の健康を祈念しております。

2022/10/31 (月) 記



会員参加と会費のお願い

支部総会には、気楽にご参加ください。去年も、今年も幹事会と支部総会は、開催できませんでした。新型コロナウイルスの蔓延が世界的規模になって3年目です。その影響は、社会、経済、文化などに対し、凄まじいものがありました。令和5年度は、開催したいと思います。幹事会は、「幹事」と言う役割付きの会の名称ですが、役割抜きで交流し、いつも盛り上がっています。参加会員には、教師、税理士、海事代理士、行政書士、福祉団体の理事長、弁護士など多彩です。会員は、在学中レポートや単位修得試験などで苦勞してきたので、共感意識が高い間柄です。初対面でも、大いに話が弾み、交流が始まります。また、仕事に関する相談など会員同士で活用してほしいと思います。開催できるようになりま

したら、大いにご参加ください。

静岡県支部会費は年額1,000円ですが、会費を支払った以上に有益な話や交流ができるものと思います。

この会報をお受け取り次第、お忘れの無いよう同封の郵便振替用紙を用いて振込んで下さい。予算は大切に使用して頂いており、支出にあたっては、必要最低限度での使用を心掛けております。ご理解とご協力をお願いいたします。

ご寄付は多少にかかわらず歓迎です。

〈振込先〉
振替口座 00880-7-35164



令和3年度事業報告

静岡県支部幹事会（第1回） 令和3年6月12日（土） 17時10分～

静岡県支部幹事会（第2回） 令和3年8月21日（土） 17時10分～

「庄や静岡南口店」で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

静岡県支部総会 令和3年10月2日（土） 16時～

静岡市葵区黒金5-1 静岡労働会館5階 第4会議室 中部地区担当 中止

東海ブロック会 令和3年10月2日（土） 18時～ 静岡県支部担当 中止

静岡県支部会報（第25号） 令和3年11月10日付け発行 500部 会員へ発送しました。

令和4年度事業計画

静岡県支部幹事会（第1回） 令和4年6月25日（土） 17時10分～

静岡県支部幹事会（第2回） 令和4年8月20日（土） 17時10分～

「庄や静岡南口店」で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

静岡県支部総会 令和4年10月1日（土） 16時～

静岡市葵区黒金5-1 静岡労働会館5階 第4会議室 中部地区担当 中止

東海ブロック会 令和4年10月1日（土） 18時～ 静岡県支部担当 中止

静岡県支部会報（第26号） 令和4年11月10日付け発行 500部 会員へ発送予定

以上



令和3年度 通信教育部校友会静岡県支部収支決算書

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

収入の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
前年度繰越金	178,149	
会費収入	48,000	48名分
総会収入	0	
寄付金収入	2,000	
雑収入	27,669	会報発送代本部からの補助他(27,517円)
広告費収入	15,000	@3,000×5名(深澤・嶋津・後藤・杉山・田中)
前受金収入	25,000	15名分
合計	295,818	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
	円	
消耗品費	3,510	封筒・ゴム印・文具・印刷代
通信運搬費	63,293	幹事会・総会案内郵送料
旅費交通費	0	
印刷製本費	44,000	会報印刷代
会合費	0	
手数料・報酬	0	事務手数料
雑費	5,000	通信役員年会費
次年度繰越金	180,015	普通預金・郵便振替口座にて保持
合計	295,818	

令和3年度決算収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、
記帳その他正確であることを認めます。

令和4年6月30日

会計監査 山口 良児 ㊞

土屋 忠得 ㊞

日本大学通信教育部静岡県支部役員名簿

役名	氏名	勤務先	学部卒年
支部長	後藤 正治	のぞみ法律事務所	S43経
副支部長	杉山 秀夫		S46法
副支部長	小松 征夫	小松征夫税理士事務所	H01経
幹事長	田中 由雄		S46商
東部			
幹事	渡辺 孝哉	日本大学国際関係学部	H14経
幹事	久保田 勝		S42経
幹事	坂田 弘明		S44法
幹事	坂内 好世	日本大学国際関係学部	H13文
幹事	齋藤 みどり	日本大学国際関係学部	H15商
幹事	藤澤 博隆	日本大学国際関係学部	H13文
中部			
幹事	大高 貞男		S35文
幹事	鈴木 栄作		H09商
幹事	繁田 雅希	城南静岡高等学校	H08文
幹事	長岡 恵子		H24文
幹事	深澤 洋二郎	海事代理士、行政書士	H12商
幹事	大石 英司		H23文
西部			
幹事	菅 沼 勇 雄		H10商
幹事	落合 貴子		H13商
幹事	飯塚 肇		H17文
幹事	嶋津 亮	税理士	H27法
会計監査	山口 良児	(株)ダイヤ工具店	S47経
会計監査	土屋 忠得		S47法
顧問	石川 貞夫		S37経

任期 令和2年4月1日～令和5年3月31日



会報の広告

会報広告の掲載にご参加ください。今回は、新たにお二人の参加がありました。ありがとうございます。広告の意味は、会員の広告・宣伝以上に、通信教育を卒業した後、どのような活動しているかの紹介です。また、静岡支部のメンバーは、立派に活動しているんだ、という広告です。広告は、ご本人のため以上に、支部のメンバーへの発信、ひいては、全国の校友の励みになります。

通信教育在学時、一生懸命、勉学に勤しみ、他方で、自分の人生がどのように展開して行くか、不安を持ちながらの毎日でした。その在学時からいま、このようなチャレンジをしている、人生を歩んでいると言う自己紹介の場でもありたいものです。

広告料は、安めでよいと考え、1枠3000円です。みな様の参加をお願いいたします。

発行人 後藤正治 電話 055-941-7000
 事務局 田中由雄 電話 055-987-7880
 渡辺孝哉

日本大学通信教育部校友会静岡県支部
 〒411-0044 三島市徳倉 2-29-9
 田中由雄 方

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部

吉川歯科クリニック

歯科医師 吉川 元仁
(平成 29 年 法学部法律学科卒業)

人の己を知らざるを患えず
人を知らざるを患う

〒428-0104 島田市川根町家山 3 9 2 - 3

TEL : 0547-53-3070

e-mail : motoyoshi52@gmail.com

日本大学通信教育部校友会

静岡県支部会計監査

(昭和 4 7 年 経済学部卒)

山 口 良 児

剛毅木訥の人生であれ

〒410-0054 静岡県沼津市北高島町 21 番 4 号

電話 (055) 922-8514



日本大学通信教育部校友会静岡県支部幹事
(平成 2 8 年 法学部卒)

自由・信念・努力
伊藤秀俊税理士事務所

税理士 嶋 津 亮

〒435-0012

静岡県浜松市東区安間町 2 9 0 - 1

TEL: 053-422-1822

E-mail: shimazu-ryo@tkcnf.or.jp

日本大学通信教育部校友会 幹事

フカザワ海事法務事務所

海事代理士・行政書士 深澤洋二郎

(平成 1 2 年卒 商学部卒)

「学ぶ姿勢」が人生の指針

〒420-0816

静岡県静岡市葵区沓谷 4 丁目 4 番 16 号

TEL/FAX 054-247-9803

Email : yo_ji1950@yahoo.co.jp

俳句誌「主流」 代表幹事

俳句を創ってみませんか

田 中 陽

(昭和54年度

文理学部文学専攻(国文)卒)

〒433-8111

静岡県島田市御仮屋町 8778 番地

TEL 0547-37-3889

日本大学通信教育部校友会 静岡県副支部長

小松征夫税理士事務所

税理士 小松 征夫

(平成元年経卒、平成6年法卒)

チャレンジが人生を創る

〒433-8111

静岡県浜松市中区葵西4丁目7番44号

TEL 053-488-4834

FAX 053-488-4843

Email: yk333@mvd.biglobe.ne.jp



日本大学通信教育部校友会静岡県副支部長
タイ・山岳民族の子供を支援する

NPO法人 SHIDA

代表理事 杉山 秀夫(昭和46年法卒)

1番苦労した人が1番幸せになる権利がある

SHIDAはそれを教育の力で

実現に挑戦しています

〒425-0068

静岡県焼津市中新田892-1

TEL・Fax (054) 624-3194

URL <https://nposhida.studio.site>

e-mail hsugiyama58@yahoo.co.jp

日本大学通信教育部校友会 静岡県支部長

のぞみ 法律事務所

(昭和43年 経済学部卒)

所長 弁護士 後藤 正治

構成 弁護士 後藤真希子

同 山本 孝介

同 影島由美子

同 杉山 裕紀

〒410-0831

静岡県沼津市市場町12番7号

電話 (055) 941-7000

URL <http://nozomilawfirm.jp/web/>

Mail: masaharu.goto@nozomilawfirm.jp